



発行：令和6年7月26日
茨城県青年海外協力隊を育てる会
発行人：小川一成
編集：広報文化委員会
事務局：つくば市高野台3-6 〒305-0074
JICA筑波センター内
TEL 029(838)1111
印刷：合資会社おた

令和6年度通常総会開催

7月7日(日)10時30分からJICA筑波センターで令和6年度通常総会が開催されました。

会議の概要を報告します。

事務局長 小松崎 弘尤

司会の小松崎事務局長より、会員数83名・出席者23名・委任状提出者39名・JICA職員2名で総会の成立がしていることの報告に続いて資料の確認をしました。

渡辺敏幸 副会長による開会のことばに引き続き小川会長による挨拶がありました。その中でラオススタディーツアーを守谷市国際交流協会主催で10月に実施するので、参加希望者は7月25日までに事務局(小川会長事務所(0297-48-1064))まで申し込んでください(航空運賃関係)、内容については変更があります。来年2月にはラオスの子供たち15名の招聘を予定している話がありました。

続いて、茨城県国際渉外チームリーダー 渡辺達彦 様、(一社)協力隊を育てる会事務局長 大石精一 様、JICA筑波センター 所長 高橋 亮 様、公益財団法人茨城県国際交流協会事務局長 須能俊光 様にご挨拶を頂き、参議院議員 加藤明良様の祝電が披露されました。議長に臼井平八郎副会長を選任、岡田實氏、国府田 良樹氏を議事録署名人に選任の後、臼井議長の進行で議事に入りました。

議長より 議案第1号 令和5年度事業報告及び 議案第2号

令和5年度決算報告が一括上程され、事業報告を事務局長から、運営委員会を5回・理事会を2回・壮行会を3回と広報誌「つくばね」3回発行し会員各位に配布、と詳細に説明され、決算報告については小松崎理事(会計担当)から詳細に説明、議案第3号決算監査報告が鶴町みち子監事から報告、議長より質疑を求めましたが質問がなく、全会一致で可決されました。

議長より 議案第4号 令和6年度事業計画について、議案第5号 令和6年度予算について、一括上程され、令和6年度事業計画を事務局長より詳細に報告されました。令和6年度予算について理事(会計担当)から詳細に説明され、議長より質疑を求められましたが、質問もなく全会一致で可決されました。

議案第6号 役員の改選について上程され、事務局長より先の理事会で全員留任と承認されていますと説明され、全会一致で可決されました。

提案された議案はすべて可決、臼井議長の役割は終了しました。その他 について、事務局より提案を求めましたが、提案がなく終了しました。武石佳宏副会長の閉会のことばで、午前11時30分すべての議事が終了しました。



渡辺副会長の開会挨拶



小川会長の挨拶



育てる会 大石事務局長の挨拶



筑波センター 高橋所長の挨拶



決算報告をする小松崎理事



会場風景

隊員からの便り

派遣中の扇澤 舞隊員からジョージア便りが届きました

2022年度3次隊／ジョージア／青少年活動 扇澤 舞

ガマルジョバ(こんにちは)!

2023年1月末にジョージアに派遣され、ついこの前折り返し地点を過ぎたと思っていたのに、いつの間にか気が付いたら残り半年ほどとなっていました。残り少ない時間の中で私がこの国の人たちのために何ができるのだろう、と考えながら過ごす日々です。

私はこの国で、ソーシャルワーカーとして首都トビリシ内の公立学校を訪問する活動を行っています。よって今回は、ジョージアの学校や子どもたちについてお話ししたいと思います。

ジョージアの義務教育期間は日本と同じ9年間で、入学年齢も同じです。しかし日本のように小・中・高の校種の区別はなく、子どもたちは1年生から12年生まで同じ校舎に通います。私立等の学校に通わない限り、その間は入試を受ける必要がありません。日本とジョージアの子どもたちでオンライン交流を実施した際、このことを聞いた日本の中高生たちからは「羨ましい」という声があがっていました。

ジョージアと日本の学校との違いは色々あるのですが、その中でも私にとって特に印象的だったのがいわゆる”外国語”活動の多様さです。ジョージアの公用語はジョージア語なのですが、

旧ソ連国であった経緯もあり年配の方の多くは学校で第2外国語としてロシア語を学習していたという方が多いです。

一方、近年は英語をメインに教える学校が多いようで、学校にもよりますが1学年か2学年から授業が始まるそうです。その他にも、ドイツ語・イタリア語・フランス語などの授業を選択できる学校もあるようです。私が今までに訪問した学校では、母国語であるジョージア語以外に複数の言語を操れる子どもたちがいるのは珍しいことではありませんでした。

また、アニメやポップミュージックなどのサブカルチャー、武術への興味を抱いたことをきっかけに学校の授業とは別に言語スクールに通い日本語や中国語・韓国語など東アジアの言語を勉強しているという子にも出会うことがあります。そういう子どもたちは日本文化への関心も高く、嬉しいことに積極的にコミュニケーションを取ろうとしてくれることが多いです。

地理的・歴史的な背景もあり、複数の言語を学んでコミュニケーションのツールとして役立てていこうとするジョージアの方々の姿勢には学ぶことが多いと感じています。残りの任期はそれほど長くはありませんが、私も彼らを見習って積極的に言語学習を行っていきたいと思います。



折り紙ワークショップ



オンライン交流



ある公立学校の外観



日本の漫画

折り紙ワークショップ

ジョージア人とウクライナ人の子どもたちが折り鶴に挑戦

オンライン交流

茨城県立並木中等学校との交流、日本の子どもたちが作ってくれたカルタで盛り上がりました。

ある公立学校の外観

この学校は2部制なので、午前の部の子どもたちの保護者と午後の部の子どもたちが外で待機しています。

日本の漫画

書店で販売されていた日本のマンガ(英語版/ロシア語版もありました)。

令和5年度4次隊県知事表敬訪問・壮行会

会長 小川 一成

令和6年4月12日(金)11時～、JICA海外協力隊4次隊の茨城県知事表敬訪問を行いました。知事は公務のため横山副知事への表敬になりました。

今回4次隊の派遣は本県から3人が派遣されます。環境教育でタンザニアに派遣される金隊員、バイオテクノロジーでパラオに派遣される

内藤隊員、食用作物・稲作栽培でウガンダに派遣される金井隊員の3名は副知事に熱く抱負を語っていました。副知事からは茨城県国際親善大使の委嘱をされ、それぞれの任国においても大いに茨城県をPRして欲しいと大きな期待を寄せられました。



和やかに懇談



親善大使の委嘱状を受ける内藤隊員



記念品を受ける金井隊員



任国の国旗を掲げて



4名の帰国隊員と共に



全員で

県知事表敬訪問の後、壮行会は午後4時30分からJICA筑波センターで行われました。

理事 小松崎 千恵子

育てる会理事・OB久田様、JICA筑波センター所長 高橋 亮様から挨拶の後、隊員の自己紹介がありました。

●内藤 紗花 パラオ バイオテクノロジー

高校生の頃から国際協力に関心があり、今回の参加につながっていると思います。あちらでは茨城県を知ってもらえたらと考えています。

●金井 美紀 ウガンダ 食用作物・稲作栽培

現地で1名の隊員が活動しており、現地研究者や稲作に関する専門家の助言を受けながら活動していきたい。

●金 希美 タンザニア 環境教育

漁業が盛んなところで観光地としても有名、その中で活動は、ごみの不法投棄、ごみの分別法など環境問題への知識が必要で、環境活動が効果的に行われるよう業務の改善を行ってきたい。

これから任国へ向かう若者たちを送り出すには少し寂しい壮行会でしたが、育てる会は茨城県から隊員の活動を応援していきたいと思っています。

恒例の「任務以外でぜひやりたいこと」インタビューに次のように答えられました。

●内藤 隊員／パラオと言えば絶対ダイビングです。それから、小さな島がいっぱいあるので「アイランドホッピング」をしたい。

●金井 隊員／発酵食品作りに興味があって以前に稲わらで納豆を作ったこともあり、職種が稲作栽培なのでその稲わらを使って納豆を作り、現地の人に食べてもらい感想を聞きたい。

醗酵メーカーや納豆菌も持っていきます。現地の人々がどんな反応をするか楽しみです。また、現地に何か発酵食品があればそれも稲わらで作ってみたい。

●金 隊員／3つあります。

①カンガという布(民族衣装みたいなもの)があるのですがそれを纏って生活したい。

②音楽が好きなので向こうの楽器を使ってフェスティバルをやって日本の音楽も披露し交流したい。私はギターを少し弾くので日本の歌謡曲なんか歌ったら面白いなと思っています。

③海辺の町に派遣予定なのでその海辺で誰でも観られる映画鑑賞会をしたい。

全部自分の趣味なのですが。

みなさんの経過を「つくばね」に寄せてもらえたら嬉しいです。



久田OBの挨拶に思わず笑顔が



JICA高橋所長の激励のことがば



懇談する隊員①



懇談する隊員②



懇談する隊員③



参加者全員いい笑顔です

これまで・これからの事業について

■これまでの事業報告 [令和6年4月～7月]

令和6年	4月6日(土)	第1回運営委員会	JICA筑波センター
	4月12日(金)	令和5年度4次隊 県知事表敬訪問・壮行会	県庁・JICA筑波センター
	5月11日(土)	第2回 運営委員会	JICA筑波センター
	5月29日(水)	令和6年度第1回理事会	JICA筑波センター
	5月30日(木)	(一社)協力隊を育てる会通常総会	東京 欠席
	6月1日(土)	第3回運営委員会	中止
	7月7日(日)	令和6年度通常総会	JICA筑波センター
	7月7日(日)	第4回運営委員会	JICA筑波センター
	7月24日(水)	令和6年度1次隊県知事表敬訪問・壮行会	県庁・JICA筑波センター
	7月26日(金)	広報紙「つくばね」72号発行	

■これからの事業予定 [令和6年8月～11月]

令和6年	8月3日(土)	第5回運営委員会	JICA筑波センター
	9月7日(土)	第6回運営委員会	JICA筑波センター
	10月5日(土)	第7回運営委員会	JICA筑波センター
	10月中旬	2次隊県知事表敬訪問・壮行会	県庁・JICA筑波センター
	10月下旬	ラオスタディーツアー	(守谷市国際交流協会主催)
	10月下旬	第2回理事会	JICA筑波センター
	11月2日(土)	第8回運営委員会	JICA筑波センター
	11月下旬	広報紙「つくばね」73号発行	

事務局からの お願い

新年度になりましたので、今年度の会費を未納の方は
下記まで納入下さるようお願い申し上げます。

指定口座 常陽銀行研究学園都市支店

普通預金 店番104 NO 1411153

口座名 茨城県青年海外協力隊を育てる会 会長 小川 一成

事務局だより

会員状況 ()は家族会員

区分	令和6年3月末現在	令和6年6月末現在
個人	65 (2)	66 (2)
団体	18	17
計	83 (2)	83 (2)

編集後記

派遣中の隊員から、『活動報告を寄稿しても良いですよ』という声を聴くのですが紙面の関係で毎回一人分しか掲載できないのが残念です。

今回は「ジョージア」で活躍中の扇澤さんに寄稿していただきました。同国はソ連時代から2015年まではグルジアと呼ばれていた国です。日本人にはあまりなじみがないですが、今回の記事で少しでも同国への理解が進めばよいと思います。

いつか、様々な国からの特集を組めたらと考えています。

JICA筑波センターの新所長高橋様の着任挨拶のような記事を次号に掲載できればと計画しています。

会員の皆様から『こんな記事を掲載してほしい』というようなことがあればご連絡ください。